

海藻おしば協会：2025年春の勉強会

2025年4月19日（土）

場所：観音崎自然博物館

講師：観音崎自然博物館 河野えりこ館長（海藻観察会）

海藻おしば協会理事メンバー（海藻おしば作り～仕上げまで）

参加者：17人

天気：快晴

潮汐 干潮時間（浦賀） 14:55 潮位：32cm 小潮

【勉強会概要】

海藻おしば協会新体制になり初めての海藻おしば作りに関する勉強会の企画となった。海なし県である埼玉県、三重県からアマ漁に関わる方にもご参加いただいた。

初参加チーム（環境学習としての海藻おしば作り体験）と作品づくりを楽しむリピーターチームのグループに分け実施。会場は、観音崎自然博物館河野館長（海藻おしば協会会員）にお願いし実施となった。

目の前が海の素晴らしい環境で海藻観察、採取、海藻おしば作りから仕上げまでを学び、協会員同士の交流の場となった。この他、実技指導員審査申し込みが1名ありこの機会に審査会も実施。

盛りだくさんの内容でしたが、参加した理事・認定講師の皆さまの協力もあり終始笑いの堪えない交流・勉強会となった。

【スケジュール】

10時～受付

10時30分～ 海洋環境学習としての海藻おしば教室（指導者育成コース）：永島講師
海藻おしば作りを楽しむコース：矢作講師
※実技指導員資格審査

12時 お昼～交流～田中先生の面白い海藻のお話

12時45分 海藻観察を楽しもう（講師：河野えりこ館長）

14時30分 初参加チーム漂着海藻の処理方法～仕上げについて：講師 高山講師
リピーターチーム（自由 館内見学など）

15時40分 質疑応答

16時 解散 16時30分 完全撤収撤収

【当日の様子】 午前：海藻おしば作り



初参加チーム：海藻おしば協会の趣旨、目的を説明し海藻おしば協会のDVD教材を使用した海藻おしば作り体験を実施。海藻の大切さ、海藻を広げる楽しさ、形の面白さなど観察しながら作品づくりを楽しんでいた。

海藻おしば作りチームは、高山理事が準備した海藻15種類以上を使用し作品づくりを行った。



（使用海藻）

ヒラアオノリ・アナアオサ・アカモク（雄・雌）・カギイバラノリ・フシツナギ・マクサ・ヒラクサ・ユカリ・トサカノリ・タマイタダキ・アッケシノコギリヒバ・カヤモノリ・ハバノリ・マルバアマノリ・オニアマノリ・ホソバノトサカモドキ

【当日の様子】 午後：磯観察



河野館長から海藻観察についての注意事項や地域ルール（ワカメは漂着していても持ち帰りは禁止）の説明を聞いたあとに博物館目の前の「たたら浜」で海藻観察。観察時間は60分フリータイムでそれぞれ楽しんだ。予定の時間から浜辺の海藻図鑑。何が？漂着しているか河野館長が名札を付けて解説、不明な海藻は田中副会長にも解説頂いた。30種類以上の海藻を並べ観察した。

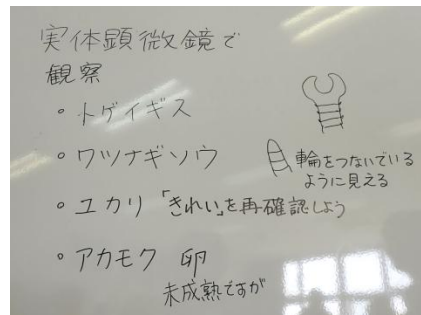


【海藻記録】

緑藻：ヒトエグサ・ヒラアオノリ・ミル・クロミル・ウスバミル・アサミドリシオグサ

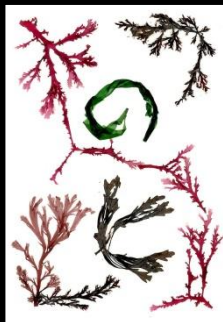
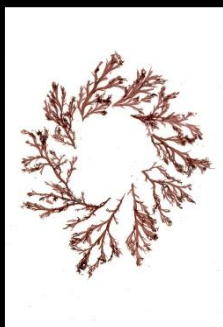
褐藻：アカモク・ワカメ・イソモク・シワヤハズ・コンブ（養殖）・ヒジキ・ハバノリ・シワノカワ・タマハハキモク・フクロノリ・ネバリモ・イシゲ・サナダグサ

紅藻：イソダンツウ・コメノリ・ピリヒバ・エチゴカニノテ・マクサ・ツルシラモ・カバノリ・ベニスナゴ・ヒジリメン（縦の筋）・タンバノリ（付着部注目）・ヒビロウド・フシツナギ・ユカリ・ハリガネ・フクロフノリ・イボツノマタ・スギノリ・ベニオゴノリ・ホソバナミノハナ（松脂のにおい）・ワツナギソウ・ツノムカデ・トサカマツ・ツルツル・イギス・カギウスバノリ（カジメの根元に）



観察後室内に戻り、初参加チームには海藻の処理方法、色止め、完成までの過程を高山講師が説明。海藻万華鏡については紹介程度であるが希望者に万華鏡作りを紹介した。リピーターチームは、河野館長にご協力いただき顕微鏡観察を行った。フリーの時間を作り博物館の見学時間を作った。

参加者作品



【編集後記】

春の勉強会無事終了！全員が海藻に興味があるメンバーなので海藻話に盛り上がり、予定プランより変動はしましたがケガもなく無事終了出来たことに一先ずホッとしています。運営面も初めてで至らぬ点多々ですが、今回の気づきは次回に活かせるようにしたいと思います。

今後とも協会員の皆さまと共に「海藻」の面白さを引き続き学び、学んだ楽しさを周りの方につなげられるよう取り組んでいけたらと思っています。

遠方からご参加いただいた皆様、ありがとうございました。博物館館長・副館長設営などのご協力も感謝します。